



夕日が静かに沈んで行き、事務所の中はしんとしている。うちの事務所がこんなに静かなのはめったにないことだ。もう正月まで1週間もないのにまだ年賀状も書いていない。やらなければいけないことはたくさんあるうえに明日は暗いうちから出て一日現場仕事だ。のんびりしているひまなどないのだけれども妙に落ちついている。

このごろ思うのだけれど、二十歳の頃こまねずみのように働いて、そのままずーとずーと同じように働き続けてきたけれども、もっと自由に動いていいんじゃないだろうか。他にやりたいことがあれば行ってやればいいのだ。何度電話しても居ないとか、いったい何時に出ているのかとか、電話がなかなか通じない、留守番電話を付けるべきだ、とかたまに言われるけれども、たまたまつながったときに話せばいいのであって、FAXもメールもある。そのこ

とについたらしっかりした仕事をすればいい。どうせ今言ってきて今日中とか明日の朝までなんて仕事はろくなものがやれない、おっつけ仕事でその場はしのげてもけっきょく後から後から時間をずるずると使うことになる。後で考えてみると何も残らない。そんなゆとりはもうない。初めのうちは留守番電話だってあったが、ある時壊れてそのままもうずいぶん年月がたつがなんの不足もない。携帯も最近持って歩かないことも多い、出先でめんどろな事を言われても返答に困るし、今日中にどーしてもやってもらいたいなんて言われても出来る状況ではない。なんだかあっちもこっちも大丈夫なんだろうかと思うくらい急でせっぱ詰まっている。街全体がそうなってきたのかも知れない。電気信号が飛び交い、瞬時に反応しあい、刹那的に動いてゆく。なんだか巨大なネズミ講を見ているようだ。人間というものはこのままどんどん進歩しつづけられるものなのだろうか。そんなに利口になり続けられるものなのだろうか。電子立国とか言っているが、電子器機ばかり作っていて食う物は足りるのだろうか。着る物はあるのだろうか。寒さの時に暖まる燃料はあるのだろうか。

もっとゆっくり考えて、ゆっくり大きく動いてみようと思う。利口な人たちがばかりがうまく生きられる世の中なんてつまらない。もっと、木偶のような人間が黙々と働いて、快く生きられるようにならなければいけないのだ。愚直に生きていきたい。

なんだか夕日を見ていてそんな気持ちになりました。来年はかまぼこのように机にへばりついているばかりではなく、もっと、ゆったりとした生き方をしてみたいと思います。

しかしなー、来年もみんな「遊ぶぞー。」とさわいでおるしなー。いつものことだけれど借金ばかりで金はホントにないしなー。なんだかみんなでヒマラヤの麓で劇をやるのだそーだ。私にも馬の足くらいの役は回ってくるそーだ。それでもって、イギリスの友人の所へいったり、すきあらばモンゴルの高原を馬で走るんだそーだ。そのあいだにハイキングに行ったり、あちこちの温泉で宴会をやるんだそーだ。ブータンだって視野の片隅に入っているし、どうも、みんな私がやるんだそーだが、その前になんとか金策に走り回ってこなければならぬ。なんとか年を超さなければいけない。そーなるとどんな無理な仕事でもつい受けてしまって、必死に仕事をしてしまうのだけれども、えーい来年こそはゆったりとバカをいいつつ過ごすんだ。お勘定なんか気にしないで飲んだり食ったりするんだ。などといいながら、けっきょく無意識に1杯180円の酒をすすり、200円台のつまみを選び、280円の牛めしに並んでしまう。貧乏性も年季が入って磨きがかかっているからなー、やっぱり来年もあんまりかわらんかなー、まあ、ぼやきつつ今年も暮れてゆきます。宝くじ当たると良いですねみなさん。良い年にしましょう。

12月の「ノーム工作室」はぱらぱらとホームページを作る人が来ています。1月も同じです。1日2500円+実費でおこないます。場所はノームプランニング（JR両国駅東口から徒歩5分、京葉道路西、本所警察隣、永谷寄席の上11階9号室）です。

TEL/FAX 03-5600-0195 高村 哲

<http://www.interq.or.jp/japan/gnomes/gnomes1>

GnomesJpn@aol.com